

各種お知らせ

後期の日程について

10月 1日(月) 後期授業開始
10月 1日(月)～5日(金) 後期履修登録変更期間
10月12日(金) 宮崎学園創立記念日、学長講話、学生連絡会(2コマ目のみ休講)
10月19日(金) 大学祭準備、10月12日分補講(1コマ目のみ授業)
10月20日(土)・21(日) 大学祭
10月22日(月) 休講
11月10日(土) 日本語検定(国際教養学部3年、教育学部2年対象)

11月21日(水) 金曜校時
12月25日(火)～1月4日(金) 冬季休業期間
1月 7日(月) 授業再開
1月12日(土)・19日(土) TOEIC IP
1月15日(火)～18日(金) 履修登録アドバイス期間
1月21日(月)～25日(金) 履修登録期間
1月30日(水) 後期授業終了
3月9日(土) 卒業式

宮崎学園図書館 ビブリオバトル発表者を募集

平成30年10月20日(土) 大学祭1日目に図書館1階でビブリオバトルを開催します。それに伴い、発表者と投票者を募集します。



【募集内容】

- ◆ 募集期間：平成30年7月9日(月)～10月17日(水)
- ◆ 募集内容：発表者(本を紹介する人)
- ◆ 応募資格：宮崎国際大学及び宮崎学園短期大学の学生
- ◆ 賞品：
 - ◎チャンピオン…賞状・図書カード等+九州Dブロック地区決戦出場権(11月24日(土)、於：宮崎大学)
 - ◎第2、3、4位…図書カード
- ◆ 申し込み：宮崎学園図書館カウンター

九州Dブロック地区決戦で勝ち残ると、12月23日(日)開催の全国大会へ出場できます。(交通費補助あり)

全国出場を目指し、頑張りましょう！保護者の皆様も観覧・投票にご参加いただけます。投票参加者はイベント直前まで募集いたします。学生さん、保護者の皆様のお越しをお待ちしております。

就職・進学支援課

4年生は、3月の合同企業説明会参加から始まり、エントリーシートの提出や筆記試験、面接試験などの選考試験へと進みました。内定報告も6月にピークを迎え、7月には半数以上の学生が就職活動を終えている状況です。公務員試験にも数名が1次合格しており、教員採用試験は1次試験の結果を待っている状況です。幼稚園・保育園等も7月には受験申込を始めています。3年生は、8・9月のインターシップに関して質問や相談に来る学生が多く、就職に対する意識が高まっている状況です。後期には、進路に関する個人面談およびS P I 対策講座や面接対策など各種の就職ガイダンスを計画していますので、多くの学生が参加することを期待します。

後期学費の納入について

後期学費の納入締切日は10月31日(水)です。学費振込依頼書は保護者様宛てに送付いたしますので、期日までに納入をお願いします。期限までの納入が困難な場合は、10月末までに総務部へご相談ください。

駐車場使用申込について

本学の駐車場利用希望者は同封された申込書を期日までに提出してください。インターネットからの申込みも可能です。詳しくはメールを確認してください。

学務部(重要)

【両学部】

- 教員免許取得予定の4年生へ
本籍地が記載された住民票を夏休み中に取得してください。免許状申請時に本籍地を確認します。
- TOEIC IPの実施について
9月中旬にTOEIC IPを実施します。詳細は、メールで連絡します。

【国際教養学部】

- 4年生へ
卒業要件：124単位以上、GPA1.50以上。
卒業論文：最終稿提出期限は、平成31年1月10日です。各チェックポイントで担当教員から評価を受けていない場合は卒業ができません。卒業可能な最低点は60点です。
詳細は、<https://sekai.miyazaki-mic.ac.jp/thesis/>にて確認してください(大学内のみアクセス可)。
☆勝手に進めず担当教員と十分に相談すること。
☆盗用の疑いのある論文、未完成の論文の提出は認められません(発覚した場合、点数を取り消します)。

■ 3年次進級要件について

英語に関する進級要件は、TOEIC500点以上です。今後とも英語力修得にしっかり取り組んでください。

■ 教育実習について

教職課程を履修している学生の教育実習参加基準：TOEIC600点以上。

【教育学部】

■ 4年生へ

- 卒業要件：128単位以上。
卒業論文：卒業論文登録要件に、各学期のGPA平均値が1.50以上とあります。毎学期、確認してください。
- 履修科目の変更について
履修登録変更期間は10月1日(月)～5日(金)です。希望する学生は変更用紙を学務部で受け取り、期間内に手続きをしてください。

宮崎国際大学

在学生・保護者向けニュースレター



MIC通信

2018年度前期

Newsletter for MIC students and parents

September, 2018

学長あいさつ



学長 山下 恵子
President, Keiko Yamashita

平成30年度は、131人の新入学生と2人の編入学生を迎え、学生総数は428人となり、大変活気溢れるキャンパスとなっております。保護者の皆さまにおかれましては、本学の教育に深いご理解をいただき、温かく見守ってくださっておりますことには心からのお礼を申し上げます。よく学ぶ学生たちは、早朝から夜遅くまで全力投球の毎日です。学ぶ故に、大きな成長を遂げる学生たちを見ていると嬉しくなります。企業、航空業界等、4年生の内定報告が続々と寄せられています。特に、教員採用試験一次試験では、20名の現役合格者、過年度卒と複数合格をあわせると30名の合格となりました。素晴らしい実績です。さらに、今年度は海外からの留学生も多く迎えておりますので、本学のグローバル化は進展中です。多様な価値観に触れ、様々な角度から思索するリベラル・アーツや教育学の専門を学ぶ本学教は、今後さらに注目されることと思います。学生の学びを最大限に支援する大学として、さらに教育に力を注いでまいります。

後援会会長あいさつ

昨年度より宮崎国際大学後援会の会長を仰せつかっております池邊美紀(いけべよしり)と申します。連日の猛暑が続いた夏、学生の皆さんが自分の夢に向かってがんばっている姿が、キャンパスのあちらこちらで見られました。学生時代の限られた日常の中、笑顔で充実したキャンパスライフを送っている学生達から、この宮崎国際大学から社会に貢献できる、世界に羽ばたく人材育成がなされている事が感じ取れます。

つい最近まで就職氷河期と言われていましたが、最新データ(平成30年6月)で有効求人倍率が1.6倍になっています。ちなみに、その就職が厳しかった平成21年は0.5倍でしたので、当時は努力を重ねても就職できず、アルバイト生活を余儀なくされるというような社会情勢で、どんなに努力しても厳しい状態がありました。つまり、日本の社会状況から見ると、学生時代に努力を重ねれば目標を手に行けるチャンスが大きく広がっているともいえます。その意味において本学は少人数でのキメ細やかな教育や、学年を超えたつながりAA(アドバイザー・アシスタント)制度、リベラル・アーツ教育が充実しており、これから日本のみならず国際社会で活躍する学生が出てくることに確信が持てるほどです。

もちろん教育学部も同様で、昨年度の卒業生が教員採用試験等で、輝かしい成果を残してくれた足跡をたどり、在学生一人ひとりが伸びるMICという本学の歴史をつくりあげています。その背景には先生方の熱心な指導があることは言うまでもありません。大学としては平成26年度文部科学省認定の大学教育再生加速化プログラム事業の採択から4年を経過し、成果をまとめる段階にきています。外国人教員比率全国一を誇る宮崎国際大学の素晴らしい教育モデルが、文部科学省はもとより、全国に周知されることが期待できます。

後援会といたしましては、限られた予算ではありますが、その全てを学生のために執行しており、ロッカー設置や談話室設備の充実の他、昨年度から卒業式直後に後援会主催で保護者同席の卒業パーティを開催しています。本学学生がより光り輝けるように活動しておりますので、これからも皆様のご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



後援会会長 池邊美紀
Chair of the Parents
Association, Yoshinori Ikebe

本紙コンテンツ

- ◆ 学長あいさつ
- ◆ 後援会会長あいさつ
- ◆ 国際教養学部
- ◆ 教育学部
- ◆ 学生部
- ◆ 学生教職支援センター
- ◆ 地域連携センター
- ◆ 入試広報室

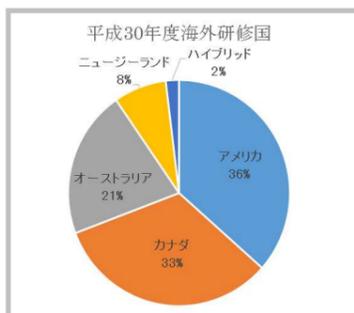
お問い合わせ

- ◆ 発行：宮崎国際大学 学生部
〒889-1605
宮崎市清武町加納丙1405番地
TEL 0985-85-5931

国際教養学部

平成30年度海外研修について

国際教養学部2年生が後期1学期間参加する海外研修プログラム。その希望者数から研修先5ヶ国の人気度をみると、僅差ながらアメリカが1位、カナダが2位（それぞれ19人と17人）、次いでオーストラリア（11人）、ニュージーランド（4人）の順でした。本年度イギリスはゼロでした。学生は前期、10回にわたる事前指導セミナーにおいて、海外研修を安全に、かつ有意義に過ごすための様々な指導を受け、8月初旬から9月初旬にかけてそれぞれの研修先へ出発します。海外研修期間中はサイトメンターと呼ばれる現地の本学学生担当教員が、グローバル教育センターと緊密な連絡を取りながら学生の指導にあたります。海外研修は、これまで教室で学んできたことを実際に異文化に身を置いて体験して学ぶ中、新たな発見、知見を得ることが期待される、本学のカリキュラムの中で重要な位置を占めるプログラムです。毎年4月、海外研修を経て大きく成長した学生との再会を楽しみにしています。



(グローバル教育センター)

韓国ヨンナム大学との交換留学 ～ 長友優斗さんが学習奨励金を獲得！～

本年度後期、韓国ヨンナム大学に交換留学生として、セメスター留学する長友優斗さん（国際教養学部3年生、宮崎県立宮崎北高校出身）が、ヨンナム大学の学習奨励金受賞者に選ばれました。長友さんが今回の交換留学を希望したきっかけは、昨年の海外研修での体験にありました。「カナダのビクトリア大学での4ヶ月は毎日が刺激的で新しい経験の連続でした。韓国という未知の国でまた新たな刺激を受けたい、もっと違った経験をして更に視野を広げたいと思ったのです。」ヨンナム大学での授業は英語で行われるため、交換留学には英語力の要件（TOEIC600点以上）がありますが、長友さんは入学から2年でこれを軽くクリア。ヨンナム大学での専門教科の学修に精一杯頑張る一方、カナダ留学中に親しくなった韓国留学生との再会、そしてその親交を深めながら本場の韓国語も勉強したい、と意欲的な長友さん。本学での学びと海外研修を踏み台に、この交換留学という新たな挑戦に旅立つ長友さんにとって、本年度後期は将来に向けた大きな飛躍の時となることでしょう。期待しています！



学生部

平成30年度「学友会」と「アドバイザー・アシスタント(AA)」が決まりました

【学友会役員委員】

- | | | | |
|------------|-----------|--------|-------------|
| ・宮元大地(会長) | ・原田結月(会計) | ・小川鈴夏 | ・鳥海莉徒 |
| ・岡田尚輝(副会長) | ・清島織舞 | ・久米田康介 | ・吉留匠馬 |
| ・富田菜央(書記) | ・酒瀬川和宏 | ・中村里桜 | ・蛭原雅人 |
| ・森美来(書記) | ・岩本夏実 | ・西野美咲 | ・河野歩美 |
| ・鳥居瞳綺(会計) | ・甲斐響乃 | ・長田昂大 | ・中山美優 (敬称略) |



【アドバイザー・アシスタント学生】

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| ・入佐加寿真 | ・宮本啓太郎 | ・原田 結月 | ・森美来 |
| ・清島織舞 | ・森まどか | ・堀之北重尋 | ・岡田尚輝 |
| ・黒木秀美 | ・長友優斗 | ・岩橋海人 | (敬称略) |
| ・宮元大地 | ・鳥居瞳綺 | ・清藤駿希 | |



平成30年度学友会活動の様子（スポーツ大会、きよたけ郷土祭りへの参加、七夕）



教育学部

学生の学長賞及び教員のベストティーチャー賞受賞について

平成29年度の学生の学長賞及び教員のベストティーチャー賞の授与式が平成30年7月4日（水）行われました。学長賞受賞者は、学業成績の指標であるGPAが3.8以上（4点満点）の優秀な成績を修めた教育学部2年生 濱口真彩さん、池田はなさん、今井未来さん、田淵稚菜さんです。また、ベストティーチャー賞は、教員の教育力をGPAとして可視化したもので、学生の授業評価(4点満点)・教員相互の授業参観(4点満点)と教育学部に対する教育貢献度を点数化し、ベストティーチャー賞は最も高い点数を獲得した教員が受賞します。今年度は数学・数学科教育法担当の渡邊耕二准教授と理科・理科教育法担当の坂倉真衣講師の2人です。学長賞・ベストティーチャー賞受賞者には今後ますますの発展を祈念しています。



学生教職センター

「平成30年度スクールトライアル事業オリエンテーション」



宮崎県教育委員会主催「平成30年度スクールトライアル事業オリエンテーション」が本学を会場にして開催されました。本年度は、両学部の1年生60名が参加しました。1人3日間の学校体験を通して、学校や教員の仕事、子どものことを理解する貴重な場になると思います。昨年度受講生を代表して、2年生の濱口真彩さんが宮崎市立潮見小学校での体験で学んだことについてエピソードを交えながら力強く発表してくれました。素晴らしい発表でした。1年生の皆さんにも自分の目標やテーマをもって学校体験に臨み、多くのことを学んでほしいと思います。そして、子どもへの愛情や教育に対する情熱をもつ教員に育つことを期待しています。

地域連携センター

PBL授業 ～地域実践演習～

本学では、昨年度から、大学が自治体と連携し、地域を志向した教育・研究・地域貢献を全学的に進めています。PBLは「地域実践演習」として実践型の課題解決型授業を行います。具体的には、学外の特定組織が抱えている課題に対して、課題解決型学習あるいはアクティブラーニングを用いながら、学生が主体的に課題解決に取り組むものです。今回は、大学と協定を結んでいる綾町役場と連携して、「どうやって綾町の魅力をインバウンド観光に結び付けることができるか、またユネスコ・エコパークを守りつつ発展させていくにはどうすればいいか」について、6人の学生が綾町でのフィールドワークを実践し、ニーズ把握・情報収集を通して、様々な視点から情報分析・企画立案を行いました。学内で、チームビルディングを行い、2チームに分かれて主体的に考えたアイデアを出し合い、最終的にまとめた提案を綾町役場担当者をお招きしてプレゼンテーション(報告会)を行いました。



入試広報室

オープンキャンパスを開催しました

平成30年7月22(日)に第1回オープンキャンパスを開催しました。今年も多く的高校生・保護者の方に参加いただきました。午後開催した「交流カフェ」では、学生スタッフの皆さんが準備した、大学についてより深く知ることができる楽しい企画が満載で、参加者から好評の声を多く聞くことができました。

